

それで非才をも顧みず本著を取上げてしたので、幾分でも事實上實際上の滿蒙の重大性を、しっかりと把握して貰えれば幸である。

昭和六年十二月廿六日衆議院  
開院式の日、第一控室に於て

森 本 一 雄

## 目 次

一、滿蒙を視る	一
イ、新帝國主義的立場から	一
ロ、解決策	七
A、支那の大動亂を懸期する	七
B、解決策	三
C、四頭政治の弊害と統一機關の設置	六
ハ、奉天に滿蒙人々	五
二、張學良と語る(北平順承王府に於て)	四
一、滿蒙外交裏面史	九

イ、日清戦争より日露戦争まで…………… 五九

ロ、日露戦争以後…………… 六四

    A、ローレンス博士の滿洲…………… 六四

    B、ハリマンの滿鐵買収運動…………… 六六

    C、ストレットの滿洲未化運動…………… 六六

    D、滿洲諸鐵道の中立提案と錦凌線の問題…………… 六〇

    E、米國の日本除外滿蒙策の失敗(四國款借團と米國)…………… 六三

    F、日露の提携と米支…………… 六六

ハ、大正六年頃より以後…………… 六九

    A、露國との關係…………… 六九

    B、米國と東支鐵道共同管理案…………… 一〇〇

ニ、昭和新年以降…………… 一〇三

三、滿蒙の特殊性とその權益の實質…………… 一一一

イ、歴史的考察…………… 一一一

ロ、日本の有する特殊權益…………… 一一五

ハ、廿一條(大正四年)…………… 一四〇

ニ、權益の行方…………… 一四四

四、滿蒙の鐵道…………… 一四四

    イ、滿蒙鐵道の發達略史…………… 一四四

    ロ、各鐵道の概要…………… 一四五

    ハ、鐵道案件と關係事項…………… 一四九

    ニ、滿鐵壓迫の東北鐵道網計畫…………… 一六一

    ホ、鐵道諸懸案…………… 一〇五

    附 表…………… 一三三

五、商租權…………… 一三〇

イ、商租權の成立……………三〇

ロ、商租權の妨害(條約違反)……………三五

六、在滿鮮人問題……………三二

イ、在滿鮮人の移住考察……………三三

ロ、思想と職業……………三四

ハ、鮮人壓迫……………三五

七、滿蒙の經濟價值と重大性……………三六

イ、日本の投資額……………三七

ロ、列國の投資額……………三九

ハ、人口の増加……………四〇

ニ、滿蒙の貿易……………四一

ホ、滿蒙の資源概要……………四二

(終り)

# 滿蒙の認識

し遂に近代的工業の勃興を來した、今では生産額に於て二十餘倍の數を示し、滿洲發  
 餘に於ける日支人の工業投資額約二億圓に達すと云はれて居る。新式工業は鐵道沿線  
 に集中し、製油、製粉、醸造、製鐵、製材、榨蠶制絲、セメント、燐寸、鑛工業、皮  
 草、製紙、織物、硝子、耐火煉瓦、化學電氣、紡績、硫安製造工業等、殊に油母頁岩  
 工業の如き世界的のものさへある。

産業立國を標榜する日本は特に滿蒙に於ける此種の方面に着目せなければならぬ。  
 商品市場としての滿蒙も亦見逃すことは出来ない、人口僅かに現存三千四百萬に過  
 まないが、それも日本が滿蒙の平和に努力したる賜物で、その増加率は實に驚異に値  
 する。此の勢いを以て進まば將來優に一億の人口を收養することも亦容易で、従つて  
 その商品消費場としては將來重大なる土地となるであらう。

近年獨逸商品の進出著しきものがあり、勞農政府亦、彼の産業五ヶ年計畫の進展に  
 伴ふ過剩商品の市場を滿洲に求めんとして居る。然るに我が商品の販路擴張は何等

の組織的對策なく、全くの無統制で、一部の大手筋を際いては極めて不振である。日  
 本商品を日本人が消費するに、支那商の手を二重三重に經るといふ奇現象を呈し  
 て居る。

世界的不況と惡政治の結果による日本内地の失業者數は百萬を算し、青年の就職は  
 僅かに三割を充たす、滿蒙に於てもその影響から逃れることは出来ない。

其れは在滿邦人目態に於ても多く自省すべき點はあるが、凡そ左の三點に歸せられ  
 てある。

- 一、日本人は支那人に比し生活費が高い。
- 二、支那人は日本人より労働力がいい。
- 三、日本人は依頼心が強過ぎる。

然しこれは未だ皮相の見であると思ふ。成程日本人と支那人の生活率は一と五の差  
 であるが、生活費の高低は直ちに民族發展の勝敗を決するものであらうか。

人類發展の歴史よりすれば、寧ろ生活程度と正比例して、民度の高き者は優位を占むるのである。

労働力に於ては支那人は慥かに強い。併し労働力の強弱が經濟競争の決定的なものではない。極めて原始的産業時代に在つては、労働力強弱が唯一の力であつたであらうが、尠くとも近代的企業組織の上に於ては、労働力はその中の一要素たるに過ぎぬ。一例を擧ぐれば、農業に於て、馬耕農業は手耕農業に優る。機械動力農業に進めばもはや労働力の強弱は殆んど問題外であつて、優劣は只資本と、組織と、技術とに依據する。從來滿洲に日本人農業の發展を看なかつた主なる理由は、支那人の馬耕農業に對して、手耕農業で終始したからである。今日關東州内に於ける大規模の自動車農業は、着々成功の確證を握りつゝある。亦北滿に於ては露支人が共同の自動車農業を計畫し、前途大いに矚目されてゐる。

三の依頼心が強いと謂ふが、依頼心は環境が培ふものである。それは非議せられ

つゝある四頭政治の責に負ふところが多い。南滿洲鐵道附屬地一帶の行政權は滿鐵の手に統べられて、滿鐵の諒解が無ければ一坪の土地さへ自由にすることは出来ない。又、奥地に進出するには、領事館や關東廳の諒解を必要とし、企業組織内容の承認を経ねばならぬ。此等の諒解なり計畫なりを進むる上に於て、日支雙方に公然の意志表示機關が備はつてゐない爲めに、企業者は直接に請願や諒解の運動を起し、夫れが多く不成功に終るのである。日本人を國家が無拘束で滿蒙に自由活動を許すならば、近代的合法的方法に依る「八幡船」時代を出現したであらう。邦人の滿蒙發展の要諦は、支那側の政治上行政上の一切の排他的政策竝手續なく、相當の資本と、優秀なる組織と、卓絶せる技術とを以て進むるならば、礦業、工業、商業、林業、農業、畜産等凡ての産業に互つて、邦人は確かに大寶庫の鍵鑰を確把することが出来ると信する。

以上是れを按ずるに滿蒙は、産業助成の資源地として、國產商品の市場として、過

國民政府(朝鮮人獨立國)	南滿中部地方	4,000人 其柳通桓興	他河化仁京 西,000人 五,000 五,000 六,000	興京縣を中心として通化・柳河・桓仁等隣接數縣二十里内外の地帯を云ふ
元參議府と正議府の殘黨	國境地方	4,000 其長臨寶韓	他白江甸安 三,000 一,五〇〇 一,五〇〇 九,000	輯安縣を中心として、北は臨江南北は寬甸地方に至る各四十里内外の地帯を云ふ
關東廳及滿鐵	滿鐵沿線	4,000 其關東州内附屬地及隣地	一,七〇〇 一,五〇〇 七,三二六 七,九八六	南は大連より、北は哈爾濱として現在滿鐵が引受けてゐる朝鮮人教育行政區域たる附屬地及其の隣接都市を云ふ
韓族勞働黨及韓僑同鄉會	吉林附近地方	4,000 其濃鑾韓源教吉	五,000 四,000 六,000 六,000 一〇,000	吉林有城を中心とし、東は敦化、南は樺甸、磐石地方に至る約三十里内外の地帯

共產黨及新政府一派	東清鐵道沿線	4,000 其額東寧	他威寧安 一,五〇〇 六,000 五,000 九,000	寧安縣を中心とし、海林・穆稜東寧地方を云ふ
計			六七,000	

### 口、思想と職業

在滿朝鮮人は、其の思想と職業とに非常に密接な關係がある。唯物史觀的に解釋すれば職業が人間の思想を支配するものと云へる筈であるが、實は在滿朝鮮人の知識階級とか、思想家なるものゝ多くは、元來無職者なるが故に、思想に依つて職業を選擇する場合が可なり多いのである。以下此等の關係を明かにして見よう。

一、思想問題 在滿朝鮮農民は、其の一部が排日思想と民族主義思想を以てゐる以

外には、大部分は無學であり、而も目前の利益以外には之れと云ふべき思想を持つて居ない。所謂智識階級に屬する在滿朝鮮人の思想を大別すると左記各派に分けることが出来る。

- 一、排日思想派 (1. 民族主義者 (即ち獨立運動者))
- 二、親日思想派 (2. 共產主義者)
- 三、親支思想派
- 四、親露思想派 (共產主義者)
- 五、中立的穩健思想派 (以上の何れの派にも偏せざる一派)

以上の各派の内、第二の親日派なるものと、第三の親支派なるものは極めて少數であり、中立的穩健思想派を筆頭に、共產主義者、民族主義者が其れに亘いで多數であるが、民族主義運動の如きは、漸次時代遅れの運動として、共產主義運動に方向轉換するものが増加し、今や後者が優勢となつて來て居るのである。然し、各地で黨派

争ひが絶えず、且つ民衆の思想運動に對する理解が乏しく、甚だしきに至つては、可なり酷い反感をさへ持つてゐるから、今後大した發展は見られないと思はれるが只共產黨員にして、露支共產黨の援助を受くる間は、直接行動即ちテロ的破壊行動は、繼續するであらう。

在滿朝鮮人の思想状態を研究するには、此の中立的穩健思想を有する一派を最も重視してかゝらなければならぬ。其れは數に於て多數であり、思想に於て何れにも偏せず、指導と環境との如何に依つては、黒にも赤にも變化し得べき可能性があるからである。之に反し、從來世間公認の親日派なるものは、社會的に其の存在が認められず又彼等の内には私腹を肥す者に、同胞の利害も體面も顧みないものもある。

在滿朝鮮人の職業は、地域に依つて二大別する事が出来る。即ち村落は農業、市街地は商業其他と云へるが、大體に於て農民以外の朝鮮人殊に知識階級が殆んどなく、かかる尊賢は滿洲の朝鮮人社會程甚しい例は恐らくは世界の何れの地方にもあるま

と思はれる。今在滿朝鮮人知識階級調査人員千人に對する就職状態を見るに、奥地に在りては、三割内外が所謂不逞團の有給職員となつて居る以外に、約一割弱の商人其他があるのみで、その餘は全部無職の高等遊民である。之に反し、滿鐵沿線並に日本領事館所在地にありては三割内外が禁制品取扱業者であり、商人約一割、其他約一割、計五割内外である。換言すれば、奥地の知識階級は四割、沿線の知識階級は約五割が貧弱ながらも所謂有識者に屬し、その餘は全部失業者、無職者の高等遊民である。

在滿朝鮮人の經濟は、沿線にありては、從來禁制品に依つて多少の成功者もあつた然し其の成功者にして多年繼續してゐるものゝ多くは、最近の銀價暴落と官憲の取締り厳しい爲め、多くは失敗してゐるが、其の金錢上の失敗よりも、遂に重大問題であると思はれるのは阿片・ヘロイン等の中毒患者となり、今では自分の吸飲用としても、其れを止める事の出來ないものが、相當に殖えて來たことである。安東縣・長春

哈爾濱等に於ける新業界の六割以上は此の中毒患者であると云ふ。

又不景氣の今日と雖も、料理屋營業者と民會其他官公署の俸給生活者のみは、比較的懐がよいが、其の以外の商人なるものは、殆んど全滅の慘狀に陥つてゐる。而して最も悲惨な生活をして居るのは農民であることは、幾度も云ふた通りで、彼等の慘狀は、全滿を通じて形容の出來ないほどである。然かも在滿朝鮮人の經濟的基礎は農業であるので、次には此等農民の耕作狀況及び收穫其の他の關係を見ることとする。

滿洲の中國人にも近年稻作の出來るものが幾らかあるが、其れは實に微々たるものであつて、彼等は良成績を擧げ得ない爲め、之れを計算する程の價値もない位である。故に東北滿洲を通じて稻作は朝鮮人獨特のものであると謂ひ得られる。そして同島地方や南滿の一部の地方の熟田にありては、小作料と地主と折半すること多きも、奥地にありては或は四歩・六歩或は三歩・七歩或は最低二歩・八歩の比で小作人の収入が